

消防団用 C D - I 型消防ポンプ自動車
ポンプぎ装仕様書
(リヤカー有：2 台)

前橋市消防団第 9 分団 1 部
前橋市消防団第 1 2 分団 1 部

令和 7 年度消防団車両整備管理事業

前 橋 市
前 橋 市 消 防 局

目 次

第 1	総則	・ ・ ・	3
第 2	ぎ装仕様	・ ・ ・	3
第 3	取付品・付属品	・ ・ ・	11
第 4	納期	・ ・ ・	11
第 5	検査	・ ・ ・	11
第 6	納入	・ ・ ・	12
第 7	補則	・ ・ ・	12
別表 1		・ ・ ・	13
別表 2		・ ・ ・	14
別表 3		・ ・ ・	15
別図		・ ・ ・	17

第1 総則

- 1 この仕様書は、前橋市（以下「当市」という。）が行う消防団車両整備管理事業のうち、令和7年度に整備するため発注する消防ポンプ自動車（以下「車両」という。）について、必要な事項を定めるものとする。
- 2 受注者は、受注後直ちに、納入しようとする車両の詳細な規格を記入した書類並びに図面を提出し、当市の承認を受けること。
 - （1）製作承認図（4面図）
 - （2）ぎ装配置図
 - （3）ポンプ動力伝達機構図
 - （4）ポンプ配管図
 - （5）電気配線図
 - （6）製作工程表
 - （7）契約金額内訳明細書
 - （8）その他当市が必要と認めるもの
- 3 車両は、A-2級消防ポンプを搭載したCD-I型消防ポンプ自動車とする。
- 4 車両は、この仕様書に定める他、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合するほか、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）に適合し、かつ、緊急自動車として承認が得られること。
- 5 車両ぎ装は、耐久性及び強度を損なわない範囲で、極力軽量化を図るものとする。
- 6 受注者は、車両の納入予定日の20日前までに検査実施依頼書を当市に提出し、承認を受けた後、当市の中間検査を受けること。
- 7 受注者は、この仕様書に疑義が生じた場合又は変更を必要とする場合は、事前に当市の承認を受けること。
- 8 ゃ装の全てについては、消防用車両の安全基準検討会が示した、「消防用車両の安全基準について」に適合したものであること。
- 9 受注者は車両を納入後、正常な操作及び取扱により生じた故障（破損）や欠陥（リコール等）による不具合及び消防用車両の安全基準不適合と判断された場合には、速やかに当市に連絡の上、無償修理等に関する承認を受け、当市が指定または承認した整備工場等で実施すること。
- 10 契約については、本仕様書を十分検討し当市と協議すること。

また、契約後におけるすべての疑義については、当市の指示に従うこと。

第2 ゃ装仕様

1 ポンプ

- (1) ぎ装に用いる構造材は、すべて日本産業規格に基づいて精選された耐久性に富むもので、別表 1 に示す強度以上のものを使用すること。
- (2) 消防ポンプは A-2 級とし、最高圧力は 1.8 MPa 以上とする。
- (3) 真空ポンプを定格回転で作動させ、75 mm×10 m 吸管 1 本をポンプ吸水口に結合した先端で、真空度を零から試験時の大気圧 85 % に達するまでに要する時間は 30 秒以内とし、漏気は 30 秒間で 13 KPa 以内とする。
- (4) 真空ポンプは、ロータリー・ベーン又はピストン式完全オイルレス装置とし、排気量はそれぞれ 1,200 cc 及び 973 cc 以上とすること。
水ポンプ本体は 2 段バランスタービンポンプもしくはボリュートポンプとすること。
- (5) 吸水口は、口径 75 mm、配管 75 mm のボールコック付きとし、車体左右操作盤後部に各 1 口設けること。また吸水口エルボは、75 φ×45°×45° スイベル型とすること。
さらに、同エルボ下部の左右車体フェンダーは、材質を FRP 製とし、全面を強度のあるアルミ板またはステンレス板にて保護すること。
- (6) 吐水口は、配管 65 mm ボールコック付き、口径は前側が 65 mm、後ろ側が 65 mm/50 mm のマルチ式とし、車体左右操作盤に各 2 口設けることし、そのうち後部側吐水口の 2 口は自在金具（スイベル）付とすること。
- (7) 中継吸口は、口径 65 mm ボールコック付きとし、左右の操作盤に設けること。
- (8) 各配管には、振動を緩衝する装置を設けるか、緩衝できる構造とすること。
- (9) バイパスバルブ（エゼクターバルブ）を左右の吸水口に設けること。
また、同バルブ付近に呼び水の完了が確認できる装置を設けること。
- (10) ドレインコックは、主ポンプ、吸水口、吐水口及び中継吸口を集中方式とし、PTO と連動して開閉すること。
- (11) ポンプ操作盤は、電子式計器及び液晶表示式ポンプ操作盤（以下「液晶式操作盤」という。）とし、圧力計・連成計は計器表示し、ポンプスロットル・真空ポンプ操作及びポンプ稼働状況等を液晶ディスプレイに表示すること。その他仕様は、下記のとおりとする。
- ア ポンプスロットルは電気式とし、スロットルの使用状態を液晶画面に表示すること。
- イ 液晶画面の表示は、日本語又は略字、略図が表示できること。
- ウ 液晶式操作盤は、各類の警告表示ができ、かつ、ブザー音等により警報を発することができること。
- エ 液晶画面の表示は、ポンプの稼働、各コック類の開閉、揚水及び放水の状況が表示できること。

オ 液晶画面の表示は、簡単に切換ができること。

- (12) ラジエーター補助クーラー及びミッションオイルクーラーへの配管は、冷却水量を調整でき、2系統ろ過装置が設けられた間接冷却型とする。

また、冷却水の取出口は、逆流防止弁と吐水口の間に設け、使用後の残水を完全に排出できること。

- (13) 不凍液注入口を車両左側の補充し易い位置に設け、不凍液タンク付きとすること。

2 キャビン

- (1) 運転席と助手席の間に各種電装器機及びスイッチ類を配した電装ボックスを設けること。

- (2) 助手席及び左右センターピラーに15W程度のLED式マップランプを設けること。

- (3) キャビン内の天井部をできる限り断熱効果の高い製品で内装し、内張の要所ごとに、電装品及び各配線の取付け箇所が容易に点検、修理できる構造とすること。

- (4) 各装備品の電気配線及び受信機関係の各配線は別系統とし、キャビンの内張を通し、キャビン本体の各貫通部は、雨水等の漏れを防止する構造とすること。

また、各電気配線により受信機関係に影響がある場合は、これを防止する有効な処置をすること。

- (5) 電装ボックスは、当市が指定する無線機等一式、サイレンアンプ等一式、その他必要なスイッチ類、照明等を整然と取付けできる容積を確保し、内部に必要な配線を設けること。また、ボックスの外側の鋭利な部分にはシーミング処理をし、乗員の保護に配慮し作成すること。

- (6) 無線機及び受令機（以下「無線機等」という。）用DC-DCコンバーターは、電装ボックス内に設け、電源は、エンジンキーアクセサリースイッチと連動させること。

- (7) 無線機等の移設については、次のとおりとする。

ア キャビン上部やや後方左右に無線機等のアンテナを各必要数設け、キャビン内電装ボックスまで配線すること。配線は、保護管を用いてキャビン内張内を通し配管（配線）し、別に無線機等のスピーカーを設けること。

なお、アンテナ及び無線機等のスピーカー取付位置については、当市と協議とする。

イ キャビン貫通部は雨水等の浸入を防止する構造とすること。

ウ 設置する無線機等の配線、アンテナ、スピーカー及びハンドセットは新品を取り付けることとし、ハンドセットの形状は当市と協議すること。

無線機等の本体から後部無線機ボックスのハンドセットまで出力する間

に必要な機器等がある場合は、取り付けること。

エ 無線機等の移設は、当市が指定する業者に実施させること。

オ 無線機等の工事経費は、受注者が負担すること。

(8) キャビンの屋根上に、モーターサイレン、赤色警光灯（電子サイレン用スピーカー及び標識灯一体）を取り付け、標識灯はスモールランプ連動、赤色警光灯はサイレン連動で点灯すること。また、モーターサイレンの取付位置は、対空表示が大きく取れる位置とすること。

(9) 電子サイレンは、イエルプ作動時（クラクション連動）にウーウー音が間断しないこととし、サイレンアンプ本体及びハンドマイクを電装ボックスに設置すること。また、クラクション連動オンオフスイッチを同ボックスに設けること。サイレンアンプ組込み合成音声は、別途指示とする。

(10) 前部LED式赤色点滅灯は、フロントグリル内に左右に振り分けて取り付け、赤色警光灯と連動すること。点滅パターンは、左右交互に点滅すること。また、詳細位置については、別途協議とする

(11) 電装ボックスに当市が指定する集中操作スイッチを設け、サイレンアンプの合成音声等の鳴動操作ができるよう配線をする事。

なお、各操作スイッチへのサイレンアンプ各機能の割り当ては、別途指示する。

(12) 各電装装置のスイッチ等は、電装ボックス上に整然と設け、各スイッチには銘盤を取り付け、運転手の障害とならない構造のLED式の銘盤照明灯をオンオフスイッチ付きで設けること。

(13) 電装ボックス後面に100V出力2口コンセントを1個設け、エンジン稼働時はDC-ACインバーターから出力し、駐車時は100V外部電源入力装置から出力することとし、いずれの状態でも使用が可能な接続とすること。

(14) キャビン内のリヤウインドに、外径10mm程度のステンレス丸棒等で保護縦格子を100mm程度の間隔で設けること。

(15) 防火服掛け（フック式）を、キャビン内のリヤウインドの保護棒枠上部に強固な取付けで5個設けること。

(16) キャビンフロントパネルの中央部に、当市から支給する前橋市紋章を取り付けることとし、詳細な位置については当市と協議すること。

(17) キャビンに取り付ける各装備品の取付箇所は、それぞれに応じた補強を施すこと。

(18) 後席前部に設けた手摺りパイプの前側に、書類入れ（A3版厚さ80mm）1つを設け、後席乗車員の乗車配慮し、突き出しを極力無くし、鋭利な部分にシーミング処置をすること。

(19) 過充電防止装置付バッテリー管理器を、後部座席下に、金属ガード付き

で設けること。AC 100V外部電源用大型マグネット式コンセント接続口は、運転席側のキャビンとポンプ室の間、もしくはポンプ操作盤下部のキャビン寄りに設けることとし、電源入力接続部は雨水等侵入を防ぐ蓋を有す構造で、運転席から接続が確認できる位置に設けること。また、マグネット式コンセント接続時に鳴動する警防ブザーを設け、運転席の見易い位置に電源接続を知らせる警告灯を設けること。

3 車体ぎ装

(1) ぎ装材料の厚さは、次によること。

- ・側板 ــــــــ 1. 6mm以上
- ・サイドエプロン ــــــــ 1. 2mm以上
- ・フェンダー ــــــــ 1. 0mm以上
- ・ステップ ــــــــ 3. 5mm以上

(2) 車両側板は、端部周辺を折り曲げ、ステップはアルミ縞板とする。

(3) ポンプ室の上部はステップと同様十分な強度の縞鋼板を張り、ポンプ点検口を上部及び前部の適切な位置に設けること。

(4) ポンプ室の側板は密閉型とし、吸水口及び吐水口のcock等の修理に必要な箇所は、取り外しができる構造とすること。

(5) 器具ボックスをポンプ室後部から両側板までの全面にわたり、高さをポンプ室高以上、奥行きを後部ステップまでとし、アルミ製キャスター付き背負い式ホース延長器（65mmホース3本詰め）4基を容易に収納し、出し入れできる大きさで設け、その後端には上部巻取り式シャッター扉を最大幅、最大高さで設けること。また、シャッターはアルミ製で、色はアルミの地の色とすること。

(6) 器具ボックス上部の周囲全周に、高さ150mmのステンレスパイプ製の手摺りを設け、積載した機器類が落下しない構造とすること。

なお、左右側板側は、同側板を手摺り高まで延長することでこれに代えることができる。

(7) ポンプ室の上部の左右にステンレスパイプ製の2段手摺りを設け、消防用ホースが積載できる構造とし、その車体外側は、積載物の落下を防ぐとともに、容易に積載物を取出せるよう下方に開放できる扉構造とすること。

(8) ポンプ室上部中央にアルミ製キャスター付き背負い式ホース延長器（65mmホース3本詰め）を2基程度収納し、容易に取り出すことができるアルミ製の上蓋付きボックスを設けること。

なお、ポンプ室点検口を開放できるよう、容易に取外しが可能な取付け方法とし、雨水等の侵入防止に配慮した構造とすること。

(9) 左側ポンプ操作盤付近に、100V出力用防水カバー付2口コンセントを1個設け、この左右に金属製保護枠兼コード抜け防止金具掛けを設けること。

なお、電源出力は前記 2 (13) の電装ボックス付近に設けた 100V 出力コンセントと同様とする。

- (10) 車外無線機の送受話器ボックスを車体の右側に 1ヶ所、車外スピーカーを付属して取り付け、送受話器ボックス内には車外スピーカー音声出力オンオフスイッチを設けること。
- (11) 後部ナンバープレート取付け装置は、車体左側に強固に設けること。
- (12) ナンバー灯は LED 式とし、金属製のガードを取り付けること。
- (13) 左右側板後端にステップ乗降用のステンレスパイプ製の手摺りを取付けること。
- (14) 後部ステップの奥行きは、器具ボックス等との兼ね合いを考慮しつつ、65mm×20mm の消防用ホースを二重巻きにした状態で長手を前後方向に積載した時にホースがステップからはみ出さない奥行きとすること。
- (15) 取付品等については、次のとおりとする。

ア 吸管取付金具は、後部両側板に設けること。

イ トビロ積載装置は、左側板上部のできる限り低い位置に設け、トビロ先端部を車両後部側とすること。

ウ 消火栓開閉バー（FHバー）は、後部乗降ステップ上に専用金具により寝かせた状態で横置きに取り付けることとし、取付位置はステップ部の最奥、後部器具ボックス下部に短手側を差し込む穴等を設け、ステップの乗降及び器具の出し入れに支障を来さない位置に積載すること。

エ 後部左側板内側に、後ろ側からノンスリップ管槍、大斧、剣先スコップ、金テコの順に専用金具により取り付けること。

なお、取付スペースに支障がある場合には当市と協議のこと。

オ 後部右側板内側に、後ろ側からノンスリップ管槍、消火栓手鉤の順に取り付け、奥側に昇降用足掛けブラケットを必要数設置すること。

カ 車輪止め積載金具 2 個を車体右側に取り付け、飛出し防止措置を講じること。取付位置は協議とする。

キ 吸管スパナ 2 本及びグランドスパナは、右吸管巻き取り内側に取り付けること。

ク 左右吸管巻き取り内側に、アルミ製キャスター付き背負い式ホース延長器（65mmホース 3 本詰め、または 50mmホース 4 本詰め）を各 1 器、専用取付装置にて取り付け、ワンタッチバックル式の固定ベルト及び防水カバー付きで設けること。

なお、車載状態でバックルを外し、そのままの状態でも容易に背負える向き及び構造で取り付けること。

ケ 後部器具ボックスの内部は、アルミ製キャスター付き背負い式ホース延長器（65mmホース 3 本詰め）を専用固定装置により 4 器以上収納でき

- る構造とし、右端部については、発動発電機（ホンダ E U - 9 i ） 1 基を積載できる専用金具及び固定ベルトを設けること。
- コ 消火器一本をポンプ室上部または器具ボックス上部に、専用取付装置及び防水カバー付きで取り付けること。
- サ 分岐金具を車体左右ステップ上、中継口の下部付近に専用金具を用い取り付けること。
- シ ポンプ室上部及び器具ボックス上部は、全体を個別に覆う防水カバーを取り付け、各積載物に雨水等がかからない形状とし、車体側に取付用フックを等間隔で片側 5 カ所以上、必要数設けること。
- ス ホースブリッジ収納ボックスは、後部ステップ下部に取り付けることとし、取り出し方向は左右側、金属製の飛び出し防止金具を設け、容易に取り出せる構造とすること。
- セ 無反動管槍（ノズル付き）を左側板外側に専用金具で取り付けること。
- ソ 折畳み式のリヤカー及び付属の担架を一括収納できるボックス又は専用スペースを、器具ボックス上部または器具ボックス内に設けること。
- 固定は専用バンドを用い、ボックス底部は簀子敷きで排水性に優れ構造とし、上部から容易に取り出しできる構造とすること。
- タ 車両左側板後端または、キャビン左 B ピラーに旗立てを取り付けること。
- チ 左右側板内側に、ネット取付用ステンレス製パッドアイを各 2 個ずつ及び、後部ステップ下面に同サイズのパッドアイを 4 個設け、ホース積載ネットにステンレス製スプリングフックを取り付け、パッドアイに引っかける構造とすること。
- ツ 左右ポンプ操作盤キャビン側に、ポンプ室上部への昇降用固定式ステップ及び昇降に必要な取手を必要個数設けること。
- テ 左右側板後端の手摺りの上部に L E D 式赤色点滅灯を後ろ向きに設け、赤色警光灯と連動させ、点滅は左右交互とすること。
- ト 右側板上部に二つ折り梯子専用取付装置を設けること。
- ナ 車両後部には強固なガード付のバックカメラを設けること。
- バックカメラは、電子式ルームミラーに走行中の映像を常時表示することを考慮した位置及び角度とすること。
- ニ ポンプ室上部中央に設けたアルミ製ボックスの両側面に、投光器用三脚を各 1 基積載、固定すること。
- ヌ 器具ボックス上またはポンプ室上に投光器 2 基、コードリール 2 器及び発動発電機を各専用固定具により積載すること。設置位置は、各ステップ上から容易にアクセスでき、取り外しがしやすい位置とし、必要に応じて協議すること。

ネ 上記、各取付品及び積載品の位置等について、不都合が生じた場合は
当市と協議、検討すること。

(16) 照明・灯火類については、次のとおりとする。

ア 作業灯は、(株)佐藤工業所製「フラッシュボーイ R D B 1 5」のアル
ミ伸縮ポール付きとし、ポンプ室前面左右に各 1 灯設け、スイッチを作業
等下部延長線上の操作しやすい位置にガード付きで設けること。

イ 左右ポンプ操作盤等及び器具ボックス内に夜間の視認に十分な照度の
L E D 式照明灯を設け、スイッチをキャビン内電装ボックスに設けるこ
と。

ウ ポンプ室内に L E D 式点検用照明灯を設け、スイッチをキャビン内電装
ボックス部分に設けること。

エ 車両後退灯は、車両後部の両側に設けること。

コンビネーションランプを採用する場合は、これに代えることができ
る。

オ 路肩灯は L E D 式とし、防錆ブラケット付きで左右後輪前部のステップ
下部に設け、点灯はスモールライト連動とすること。

カ 各灯火類のスイッチには、それぞれ銘板を取り付けること。

4 塗装

(1) 車体は防錆塗装下塗りを行い、十分乾燥させること。

(2) 外装色は朱色とし、3 回以上の吹き付け塗装を行い塗斑のないこと。

(3) 車体下回りは黒色の防錆塗装、ポンプ室内は青色塗装とすること。

(4) 外部に露出しているステンレス、アルミ及び黄銅製以外の金属部分は、
すべてニッケル又はニッケルクロムメッキを施すこと。

5 記入文字

(1) キャビン両側に「前橋市消防団」と左書きで、丸ゴシック体白文字（反
射素材カッティングシート）にて記入すること。

文字の大きさは、1 文字 2 0 0 mm×1 1 0 mm程度の縦長とする。

(2) 車両名は、キャビン両側に 9 分団 1 部は「9－1」及び 1 2 分団 1 部は
「1 2－1」と左書きで、丸ゴシック体白文字（反射素材カッティングシ
ート）にて記入すること。

文字の大きさは、最初の分団名「9」及び「1 2」を 1 文字 2 0 0 mm×
1 5 0 mm、後の各 1 文字を 1 5 0 mm×1 0 0 mmの縦長とする。

(3) 標識灯カバーの前面に 9 分団 1 部は「9－1」及び 1 2 分団 1 部は「1
2－1」と横書きで、丸ゴシック体黒文字にて記入すること。

文字の大きさは記入できる範囲の最大とする。

(4) キャビン屋根に 9 分団 1 部は「9－1」及び 1 2 分団 1 部は「1 2－1」
と横書きで、丸ゴシック体白文字にて記入すること。

文字の大きさは、1文字 700mm×450mm程度の縦長とする。

- (5) 車両前部左側及び車両後部右側に9分団1部は「9-1」及び12分団1部は「12-1」と横書きで、丸ゴシック体白文字（反射素材カッティングシート）にて記入すること。

文字の大きさは1文字70mm×70mm程度とする。

- (6) 運転席及び助手席ドアに当市で指定する消防団のエンブレム（反射素材）を入れること。図柄及びサイズ等は、別途指示するものとする。
- (7) キャビン両側面及びぎ装側板両側面（車体側面の前から後ろまで）に赤色の高輝度反射素テープを貼付すること。貼付する位置及び範囲については、別途協議とする。
- (8) 記入文字等については、当市と協議し実施すること。
- (9) 使用する反射材は、道路交通法に適合すること。

6 その他

- (1) 完成車の最大車高を2,700mm以下とし、赤色警光灯を最高位とする。
- (2) ポンプ関係の電装は、車両電装とは別系統のヒューズボックスを設けること。
- (3) 吸管先端金具に、カラビナ取付け用の環を取付けること。
- (4) ホース延長器の材質は、強度に十分に配慮したアルミ鋼管とすること。
- (5) 電装関係は24Vを基本とし、必要な部分について12V及び100Vとすること。
- (6) ブラックボックスは整備性の良い位置に設置すること。

第3 取付品・付属品

取付品及び付属品の詳細については、別表2、3のとおり

第4 納期

令和9年3月31日までに、当市に本仕様書のすべてを納入すること。

第5 検査

次の検査は、実施できる状態で日程を組み、検査実施依頼書は検査予定日の20日前までに当市へ提出すること。

1 中間検査

ぎ装、各取付品部、作動、寸法及び構造等を検査する。

2 完成検査

完成検査は、ぎ装及び塗装等が全て完成した時点で、本仕様書の全般及び次の事項について実施する。

- (1) 車両の外部外観寸法
- (2) 各種装置、機材の機能検査
- (3) 取付け品及び付属品の形状、取付け積載状況並びに数量検査

第6 納入

- 1 完成車は、関東運輸局群馬運輸支局の行う新規登録検査に合格後、必要な登録のすべてが完了した状態で納入すること。

なお、新規登録のすべての手続きは、シャーシ受注者が実施すること。

- 2 完成車の納車は、シャーシ受注者と協力し、各部の清掃、注油、点検及び手入れを行った後、納入すること。

- 3 納入時には、次の関係図書を各3部当市に提出すること。

(1) 車両構造図

(2) 納品書、保証書

(3) 日本消防検定協会の個別検定合格証標の写し

(4) 日本消防検定協会の鑑定合格証標の写し

(5) 消防ポンプ性能試験成績表

(6) 取付け品、積載品明細書

(7) 消防ポンプ取扱説明書

- 4 納入後、当市の指定する日時に、ぎ装の取扱説明会を実施すること。

第7 補則

- 1 受注者は、迅速なサービス態勢が確立されていることとする。

- 2 受注者は、納入検査時に不合格と認めた箇所及び部品について、無償で取り替え又は修理を行うものとする。

また、保証期間後といえども設計不良、工作不良あるいは材質不良に起因する不具合等が生じた場合は、無償にて修理又は取り替えを行うものとする。

- 3 本車両の保証期間は、納入後1年間とし、その他の積載品等については各メーカーの示した保証期間とする。

- 4 受注者は、本仕様書に記載のないものについても、当然必要なものは良心的に製作すること。

- 5 受注者は、工業所有権に関する法律上抵触する問題等の事項が発生した場合は、責任を持って解決し、車両を製作すること。

- 6 立会検査時の試験材料等は受注者の負担とする。

- 7 仕様書説明における当市係員の補則等は、本仕様の追補とする。

別表 1

ぎ装構造材一覧表

部 品 名		材 料	
ポンプ	羽 根 車 及 び 案 内 羽 根	J I S	H5120（銅及び銅合金鑄物）
		J I S	H5121（銅合金連続鑄造鑄物）
	ケーシング	J I S	H5202（アルミニウム合金鑄物）
		J I S	G5501（ネズミ鑄鉄品）
		J I S	G5502（球状黒鉛鑄鉄品）
		J I S	H5120（銅及び銅合金鑄物）
		J I S	H5121（銅合金連続鑄造鑄物）
		J I S	H5202（アルミニウム合金鑄物）
	ポンプ軸	J I S	G4051（機械構造用炭素鋼鋼材）
		J I S	G4052（焼入製を保証した構造用鋼鋼材H鋼）
		J I S	G4053(ニッケルクロム鋼鋼材及びクロムモリブ デン鋼鋼材)
		インデューサー	J I S
	J I S		H5120（銅及び銅合金鑄物）
	J I S		H5121（銅合金連続鑄造鑄物）
	J I S		H5202（アルミニウム合金鑄物）
	給水配管及び放水配管	J I S	G3452（配管用炭素鋼管）
J I S		G3454（圧力配管用炭素鋼管）	
J I S		G3459（配管用ステンレス鋼管）	
J I S		G5501（ねずみ鑄鉄品）	
J I S		H4080(アルミニウム及びアルミニウム合金継目 無管)	
車体の艀装材料		J I S	H5202（アルミニウム合金鑄物）
		J I S	G3101（一般構造用圧延鋼材）又はこれと同等以 上の強度及び耐久性を有するもの）
(注) 通水内面には防食処置を施すこと。（ただし、銅及び銅合金部分を除く）			

別表 2 取付品

番号	品 名	数量	仕 様 及 び 型 式
1	ポンプ圧力計	2 個	液晶可（アナログ表示）
2	ポンプ連成計	2 個	液晶可（アナログ表示）
3	エンジン回転計	1 個	シャーシ固有
4	エンジン油温計	1 個	シャーシ固有
5	赤色警光灯（24V仕様）	1 式	大阪サイレン製 N F - M L - V K 2 M - L A 2 モーターサイレン内蔵 自動吹鳴装置 D S C - 2 テストスイッチ付き
6	電装ボックス	1 式	L E D 照明付（オンオフスイッチ付）
7	電子サイレン	1 式	大阪サイレン Mark-D1（TSK-D152 スイッチロール付/ウーウー音・イエल्प音同時鳴動）組込み合成音声別途指示 非常用配線及びスイッチ付
8	集中操作スイッチ	1 式	大阪サイレン製 SBW-100（リレー付）
9	前部赤色点滅灯	2 個	大阪サイレン L F A - 5 0
10	後部赤色点滅灯	2 個	大阪サイレン L F A - 5 0
11	作業灯	2 式	フラッシュボーイ RDB15、アルミ伸縮ポール付
12	標識灯	1 基	赤色警光灯組込式
13	不凍液注入装置	1 式	
14	前橋市紋章	1 個	別図のとおり
15	左右ポンプ操作盤灯	2 式	照度 2 0 W 程度 L E D 式
16	ポンプ室等照明	1 式	必要数（ボックス内・ポンプ室・各ゲージ）
17	無線機用スピーカー	2 個	車内用及び車外用（防雨型赤色）
18	空中線	必要数	別途協議
19	DC-DCコンバーター	1 個	2 4 V → 1 2 V
20	DC-ACインバーター	1 個	2 4 V → 1 0 0 V
21	100 V 出力コンセント	2 個	電装ボックス及び左側ポンプ操作盤付近外部設置は防水カバー、金属ガード付
22	路肩灯	2 個	L E D 式 左右各 1 個
23	書類入れ	1 個	A 3 判対応（厚さ 80mm）
24	ネット取付フック	必要数	金属製 両側各 5 個以上
25	足掛けブラケット	必要数	車両左右は固定式・後部は折り畳み式
26	取っ手（手摺り）	必要数	ステンレス製
27	防火衣掛けフック	5 個	ステンレス製
28	梯子積載装置	1 式	
29	後輪泥よけ	1 式	黒色
30	バッテリー管理器	1 式	過充電防止機能、マグネット式コンセント 100 V 外部入力 10m コード 1 本

別表 3 付属品

番号	品 名	数量	仕 様 及 び 型 式
1	吸管	2 本	75mm×10m軽量型（白色スコッチテープ） カラビナ取付環金具付き
2	吸口エルボ	2 個	75mm×45° ×45° スイベル型
3	吸口ストレーナー	4 個	吸水口、中継口 各 2 個
4	吸管ストレーナー	2 個	ねじ込み式
5	吸管藤籠	2 個	プラスチック製・黄色
6	吸管まくら木	2 個	ゴム製
7	吸管ロープ	2 本	ナイロンロープ10mm×15m
8	吸管用消火栓金具	1 個	吸管引上金具付65mm差込メス ロープ引揚式
9	中継吸口用媒介金具	2 個	65mmメスネジ×65 mm メス町野式
10	消火栓開閉金具	1 式	Y O N E F Hバール 1 本
11	吸管スパナ	2 本	黄色塗装
12	管そう	3 本	65mmノンスリップ（赤色）2本 65mm無反動管槍 1本
13	放口媒介金具	4 個	65mmメスネジ×65mm差込オス 2個 65mmメスネジ×65/50mmマルチスイベル 2個
14	分岐管	2 個	メス65mm×オス65/50mmマルチ 1個 メス65mm×オス65mm 1個
15	ノズル	5 個	23、26mmストレート、パーフェクト×1 NM-II×3
16	とび口	2 本	1800mm樹脂製（黄色）
17	金てこ	1 本	900mm
18	剣先スコップ	1 丁	金属柄 穴あきタイプ
19	梯子	1 基	関東梯子製 K-1-36（3600mm）
20	ホース延長器	9 基	65mm3本詰めキャスター付（ネーム入り）
21	車輪止	2 個	中型ゴム製
22	消火器	1 本	自動車用ABC粉末20型（防水カバー付）
23	ポンプ工具	1 式	グランド回し・ファンネル回し・収納袋
24	ホースブリッジ	2 個	ゴム製
25	防水カバー	必要数	ポンプ室上部及び器具ボックス上部、各器具 用、積載ホース用
26	カラビナ	2 個	O型安全環付き
27	大斧	1 本	C A 6 0（柄の材質はグラスファイバー）
28	ナイロンネット	1 枚	短辺600mm×長辺後部ステップ幅 ステンレス製小型カラビナ 8 個付き

29	セーフティーコーン	5 個	伸縮式・ウエイト付き
30	旗立てポール	1 本	長さ80cm程度・アルミ製・紐用リング付き
31	訓練旗	2 枚	白地に黒色文字縦書き「訓練」
32	照明器具	2 式	100V用投光器・専用三脚付
33	発動発電機	1 基	ホンダ E U 9 i ・オイル満了
34	コードリール	2 器	屋外型防水 3 0 m プラグコンセントから 3 0 cm 付近に金属製ナス環又は簡易カラビナ付き
35	吸水器具	1 式	クイックキャッチャー
36	消火栓手鉤	2 本	J フック型
37	折畳み式リヤカー	1 台	ノーパンクタイヤ、ストレッチャー付き 昭和ブリッジ販売 S M C - 1 B S T
38	消防用ホース	10本	65mm中間線入り白はかま

別図

前 橋 市 紋 章

規格

- 1 紋章の輪の大きさは、外円と内円の半径の比を 1 : 0.73 とする。
- 2 材質は J I S H 5 1 2 0 砲金とする。
- 3 外周部の厚さは、9 mm、また内周円部の厚さは、6 mm とする。

